

第4章

将来像の実現に向けた 基本戦略（案）

※第3章及び第4章はそれぞれ案として掲載しているもので、今後、都民・事業者など様々な主体からの御意見を踏まえて、将来像・目標・今後の取組等を地域戦略本文に掲載していく予定です。

1 基本戦略の考え方

第3章で示した将来像を実現するために、今後、都民・事業者・民間団体・行政など様々な主体が連携・協働して取り組むための基本戦略(案)について、以下に3つの柱を提示します。

基本戦略

1

生物多様性の保全と回復を進め、東京の豊かな自然を後世につなぐ

東京の自然の基礎的な情報をもとに、現在残っている良好な生物多様性の保全を進めるとともに、既に劣化してしまった生物多様性の回復を図ることで、東京の豊かな自然を後世につないでいきます。

基本戦略

2

生物多様性の恵みを持続的に利用し、自然の機能を都民生活の向上にいかす

都内外の生物多様性の恵みを持続的に利用し、癒しや潤い、地域コミュニティの活性化、防災や減災、気候の調整など、都民生活の向上にいかしていきます。

基本戦略

3

生物多様性の価値を認識し、都内だけでなく地球規模の課題にも対応した行動にかえる

生物多様性の価値を認識し、生物多様性を自分事として捉えることにより、都内の課題だけでなく、日本全体さらには地球規模の課題にも対応した行動にかえていきます。

2 基本戦略ごとの取組体系

基本戦略

1

生物多様性の保全と回復を進め、東京の豊かな自然を後世につなぐ

(1) 自然環境の保全と回復

自然環境情報の収集と蓄積の取組促進、保全地域の指定拡大、多様な主体による都内各地での保全活動など

(2) 野生鳥獣の保護管理と希少種・外来種対策

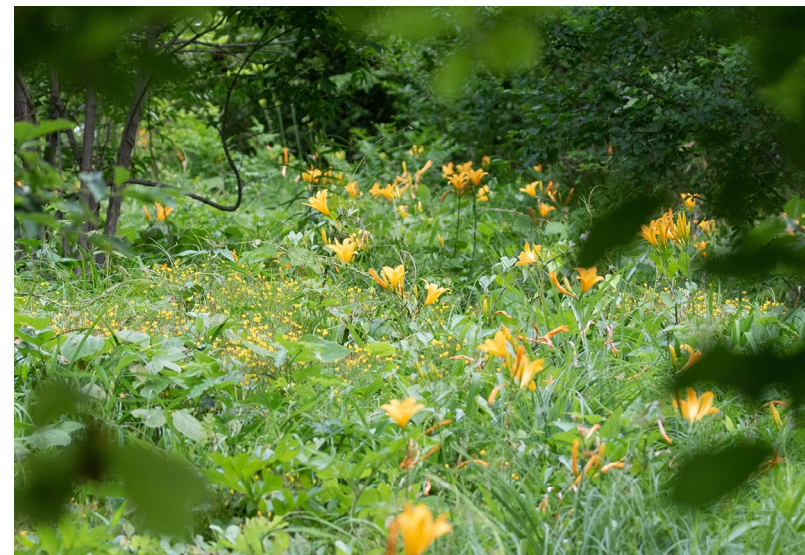
シカ対策、絶滅の恐れのある野生生物調査、希少種の保護、生態系等に影響を及ぼす外来種対策など

(3) 開発時における生物多様性の配慮・向上

開発時における既存緑地の保全と新たな緑の創出、生態系に配慮した緑化、環境アセスメントなど



エコロジカル・ネットワークとして重要な崖線緑地
(出典：崖線の緑を保全するためのガイドライン)



都立公園で保全されている希少種ムサシノキスゲの群落

基本戦略

2 生物多様性の恵みを持続的に利用し、自然の機能を都民生活の向上にいかす

(1) 東京産の自然の恵みの利用(供給サービス)

多摩産材等の持続可能な資源の利用、都内産農産物等の価値向上・地産地消など

(2) 防災・減災等につながる自然の機能の活用(調整サービス)

多面的機能を有する自然環境の適切な保全・管理、雨水浸透・雨水貯留の促進など

(3) 快適で楽しい生活につながる自然の利用(文化的サービス)

自然公園における安全・安心・快適な利用、身近な緑地や農地の利用など



多摩産材を活用した都立小宮公園の木道
(出典：多摩産材情報センター)



雨水浸透機能を活用した商業施設
(出典：南町田拠点創出まちづくりプロジェクト)

生物多様性の価値を認識し、都内だけでなく地球規模の課題にも対応した行動にかえる

(1) 生物多様性に関する普及啓発

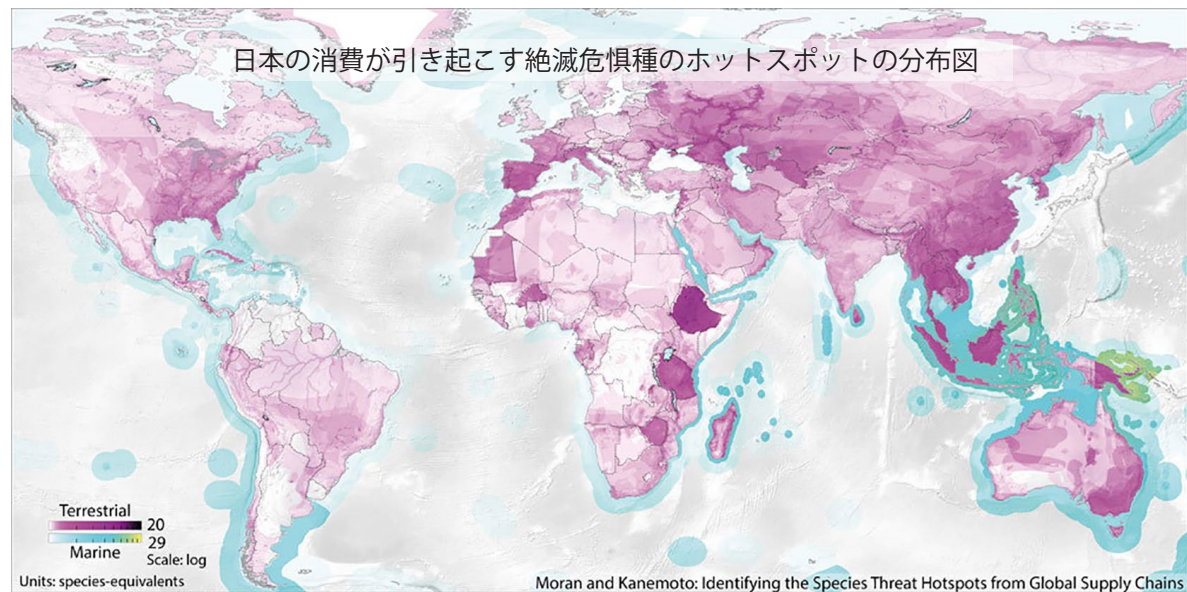
生物多様性の価値・重要性に関する普及啓発、様々な分野における計画や取組との連携など

(2) 人材育成と自然環境教育の促進

自然環境分野における人材育成・自然環境教育の促進、子供を対象とした自然体験活動の拡大など

(3) 都内だけでなく地球環境にも配慮・貢献する行動変容

自然環境に配慮・貢献する商品選択や環境金融の促進、食品ロス削減による世界の生態系への負荷軽減、海ごみ対策など



陸域では最も濃い紫は20種、海域では黄色が29種の野生生物が絶滅の危機にあることを示す。米国に比べて東南アジアなど、特定の地域で影響が大きい。

出典：Nature Ecology & Evolution. 著者インタビュー。「金本 圭一朗氏：消費・生産活動が絶滅危惧種に及ぼす影響の視覚化に成功」. <https://www.natureasia.com/ja-jp/natecolevol/interview/contents/1> (参照2021-6-25)

東京のポイ捨てが、
太平洋の
海ごみになっている。

街で発生したごみが、雨や風によって河川や水路等に入り込み、やがて海まで流れ出て「海ごみ」になっています。

海ごみ対策ははじめませんか。



(出典：東京都環境局リーフレット)

3 様々な主体による連携・協働

東京の将来像を実現するためには、基本戦略1から3に基づき、都民、事業者、民間団体(NPO・NGO・市民団体等)、教育・研究機関、区市町村など、様々な主体が連携・協働しながら、取組を推進していく必要があります。

